

(市津地区)

世帯数	5,533	世帯
人口	13,340	人
男	6,687	人
女	6,653	人

むらたがわ



福祉バザー



平成23年10月23日(日)、市津公民館で市津支部福祉バザーを実施しました。売上収益31万7千900円、寄附金20万3千763円は、市原市社会福祉協議会を通じて、歳末見舞金として、生活が苦しくても公的援助を受けていない方々に配分させていただきました。皆様からのご協力ありがとうございました。

市津支部支部長 小出進
文責 民生委員児童委員 金子みつ子



敬老会



平成23年9月18日、敬老会が市東、湿津の2会場で開催されました。市東会場には121名が参加され、式典の後、民謡や三味線の演奏、市東第一小学校児童による合奏・合唱、プロ歌手で金剛地出身の杉田淳さんの演歌などで会場を盛り上げました。

湿津会場は238名の参加で、盛りだくさんのアトラクションが行われました。カラオケ・フラダンス・南京玉簾・太極拳・湿津小学校児童によるよさこいソーランなど。また、お年寄りの交通事故防止の交通事故防止策として市原警察署交通課の安全指導もありラストは会場が一つの輪になって炭坑節でお開きとなりました。

前日からの会場準備、当日の役割分担など多くのボランティアの皆様へ感謝申し上げます。

社協市津支部支部長 小出進
文責 民生委員児童委員 山本富彦

成人式



久しぶり！元気？何してんの？若々しい声が飛び交う。久しぶりの再会を照れくささを隠しながら、身体全体で喜んでくれる。和やかな雰囲気の中、平成24年市津地区成人式が1月8日(日)午前10時から市津公民館で多くの来賓の方が見守るなか新成人70名が出席して行われました。新成人2名による司会進行が行われ、野城実行委員長挨拶、佐久間市原市長の挨拶に続いて多くの来賓の祝辞がありました。とりわけ湿津中学校、市東中学校卒業時の担任の

先生方からの祝辞には当時に戻ったかのように新成人から先生という声が出たり急ににぎやかになりました。新成人2名から誓いの言葉や会場内全員でアトラクションを楽しみ式が終了しました。

どうか成人式に送り出してくれた家族への感謝の気持ちと、ふるさと市津を忘れないで世界へ飛び出して活躍されることを期待しております。

市津地区町会長 深山均

子育てサロン「ひよこクラブ」



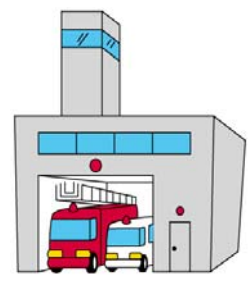
あいにくの雨模様の日でしたが、元気のよい消防士のお兄さん達のきびきびとした実技と、高く伸びた「はしご車」や「救急車」を見学して子どもたちの目が輝いていました。

この見学をきっかけに将来、消防士になろうという夢を抱いてくれるとよいと思えました。

市津ひよこクラブ消防署見学

お忙しいなか、いろいろとお話しくださった市津消防署の皆様、本当にありがとうございました。

主任児童委員 廣瀬義江





県内学校1000カ所ミニ集会



三橋藤平

昨年12月10日、湿津小学校で「教育を考える会」があると聞き参加しました。アトラクションの小学校器楽部と中学校吹奏楽部の発表は両校とも素晴らしい演奏でした。日々の練習と指導力に質の高さを感じました。

講演は、千葉大学・明石要一教授の「子ども達の生活環境と地域の教育力」がテーマで子どもたちの現状と大人の対応が一つ一つ話され、その対応から今後、親として地域として子どもたちの自立や夢を支え育むための指針が見えたような気がしました。久しぶりに晴れやかな気持ちで学校を後にしました。

民生児童委員



2011.12.10

市民体育祭

昨年10月9日(日)に平成23年度第49回市原市民体育祭市津地区大会が市津運動広場で8時30分から27町会の参加のもと開催されました。

当日の朝は肌寒く、それでも開会式のころには暖かくなり、全員で準備体操し20種目の競技と、小学生による相撲がスタートしました。



町会対抗リレーでは選手は力走、町会のテントの中からは大きな声での応援、町会対抗綱引きにいたってはテントからフィールドに出るの応援と大変盛り上がりました。

相撲会場では豆力士たちによる大相撲、秋空の下で子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまでみんなで楽しく過ごした体育祭でした。

市津地区町会長会

深山均



社会福祉協議会からのお知らせ

小域福祉ネットワークについて

社会福祉協議会では日常生活圏としての小学校区を範疇とした小域福祉圏において、地域福祉の具体的な取り組みを話し合い、活動する場として、地域住民を主体とした「小域福祉ネットワーク」の設置に取り組んでいます。

このネットワークは地域住民の方々、町会、民生児童委員、福祉施設その他の事業者、学校、PTA、保育所、子ども会、商店会、老人クラブ、医療機関、社会福祉法人、NPO、ボランティア、市社協支部など幅広い組織、団体・個人で構成されます。

社会福祉協議会ではこのネットワークの設置を担い、事務局を担当します。

地域でどのような福祉ニーズ・課題があるのか、地域住民の方々、当事者、各関係団体との話し合いを基に解決していきます。福祉問題を把握する際には必要に応じて調査などを行い、その結果を分析して解決に向けた具体的な活動方法を決定し、組織的に実施に移していきます。

市津地区では、3小学校区のうち、まずは市東第二小学校区をモデル校区として小域福祉ネットワークの設置を進めています。地域の皆様方のご協力をお願いいたします。

編集後記

皆様のご協力をいただき、本誌も第2号を発行することができました。各団体の皆様には厚く御礼申し上げます。

今後も皆様方の思いが伝わる行事や心温まる活動、地域のコミュニケーションシオンづくりに貢献するイベントなどを紹介していきたいと思っております。

地域に根付いた愛される広報誌でありますよう委員全員で頑張ります。

今後ともご協力いただけますようお願いいたします。

広報誌作成委員

深山均

広報誌作成委員長 山本富彦 (民生児童委員)

広報誌作成委員

深山均 (市津町会長会) 高橋洋子 (市津婦人会)

今泉敬士郎 (青少年育成地区民会議)

金子みつ子 廣瀬義江 (民生児童委員)

山田能里子 片岡八重子 (子育て支援員)

枝川国子 (更正保護女性会)